

まもなく3年目を迎えます！

まず初めに、この度の集中豪雨による浸水被害を受けられました皆様に、お見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧を心からお祈りいたします。

それにしても、今回の災害は、改めて自然の猛威を見せつけられたものと感じております。また、避難指示の遅れが報道されていますが、自治体としましては、住民の方々への情報発信のあり方が問われることとなりました。空振りを恐れることなく、早め早めに避難指示や避難勧告を出さなければならないことは、頭では分かっていることですが、適時適切に判断しなければなりません。自治体の長として、災害対応への危機管理意識をさらに高めてまいります。

さて、村長に就任してから、早くも2年が経過しようとしています。振り返ってみますと、村民の皆様との対話を重視したいという思いから、地域の様々な行事にも積極的に参加したり、「タウンミーティング」や「ふれあいトーク」などを実施してまいりました。まだまだ一部の方々との交流にとどまっているとは思いますが、今後とも、村民の皆様の声を直接聞き取れるような場を設定していきたいと考えております。

平成27年度も約半年が過ぎようとしておりますが、喫緊の課題としましては、「まち・ひと・しごと創生」の“人口ビジョン”と“総合戦略”の策定が急務となっています。人口減少社会の到来は、既に始まっています。将来に向けて活力ある地域社会を形成していくためには、若年世代の人口を確保していかなければなりません。若い世代の方々が、「安心して働ける」「安心して子どもを産み育てられる」環境を整えていく必要があります。そして、村民誰もが愛着と誇りを持てる「東海村」を創っていききたいと考えております。

東海村在住の高校生へのアンケート調査で、「東海村に愛着がある」と回答した割合が48.3%と他市町村と比べて突出して高く、「どちらかと言えば愛着がある」を合わせ、“愛着がある”と回答した割合が86%を超えました。村長として、大変嬉しい結果であり、全ての村民の誇りであると感じています。

まもなく3年目を迎えますが、これからも自信を持ってチャレンジしてまいりますので、引き続き皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年9月15日
東海村長 山田 修